

項目		支援対象組織 A (自主防災会)	支援対象組織 B (自主防災会)
基本情報	世帯数/人口	約 1,050 世帯/約 2,350 人	約 2,750 世帯/約 6,400 世帯
	高齢化率	約 40%	約 30%
	自治会数	8	12
	災害リスク	土砂災害、浸水害、台風、地震	浸水害、台風、地震
自主防災組織の活動状況	R8年度の取組み ※見込み(年度内の活動の中で変更することがあります)。	○防災会議:5回/年程度 4、6、9、11、1月 ○訓練・イベント:3回/年程度 6月:市)情報伝達訓練 1月:市)情報伝達訓練 3月:救急救命講習会 ※この他イベントを企画・検討中	○防災会議:6回/年程度 4、5、7、10、12、3月 ○訓練・イベント:4回/年程度 6月:市)情報伝達訓練 8月:防災・福祉マップ作成 12月:防災研修(または訓練)① 1月:市)情報伝達訓練、 防災研修(または訓練)②
	会議の構成	26名 振興会会長・副会長、自治区防災部長(いずれも防災士・防災リーダー)、防災委員(防災士・防災リーダー、消防団分団長、民生委員・児童委員代表、婦人会会長など)	10名 振興会会長・副会長、自治班長、福祉班長、消防班長、自治区防災部長 ※うち、防災士3名
	役員任期	2年	2年
防災情報共有手段		LINE、電話	LINE、電話
外部団体等との連携状況	市民活動団体(NPO)	なし(過去に被災者支援団体との連携の実績あり)	なし
	地元企業・事業所	地域独自避難所として福祉施設を活用中	福祉施設の地域独自避難所としての活用に向けて検討中
現状		<ul style="list-style-type: none"> <li>・R5年の被災以降、本格的に組織再編。</li> <li>・実行性のある活動を遂行中(防災まち歩き、危険箇所マップなど)。</li> <li>・今後は避難行動要支援者への対応、実働的な組織の維持を検討。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災組織は設置しているが、活動は停滞中。</li> <li>・R8年度は実行性向上に向けた組織再編、持続可能な防災活動の企画・実施または計画の策定に取り組む。</li> </ul>